



# たきざか

No. 610  
平成30年10月1日  
調布市立滝坂小学校  
校長 鈴木 祐介

## 信じて 待つこと

副校長 内藤 みゆき



空の色が、まばゆく強い青から、優しさを含んだ色合いになり、ぎゅっと固めた綿のようだった雲も、柔らかくほどけた筋雲へと変わってきました。

「実りの秋」「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」・・・食べ物もおいしく、何をするにも心地よい季節の到来です。本校では、10月1日から19日まで、今年度二回目の読書旬間が設定されています。また、11月16、17日に開催される展覧会に向けた作品作りに、各学年とも力が入っているところです。

さて、巷ではスポーツ界での日本人の活躍が、明るいニュースとして大きく報道されています。大リーグで活躍している大谷翔平選手やテニスの全米オープンで優勝を果たした大坂なおみ選手など。世界を相手に20代の若さで堂々と夢を叶えていく姿は力強く、見ているだけで明日への活力が湧いてくるようです。両者の強みは、報道でも度々言われているように「メンタルの強さ」にあるように思います。その強さはどうやって育まれたのでしょうか。

大谷選手のお父さんは少年野球チームのコーチだったそうですが、家では一對一の練習は行わず、我が子が自主的に練習するのを見守るスタイルをとっていたといいます。そして、父と子の「野球ノート」（交換日記）でアドバイスを記す際に意識したのは「失敗はあって当然、大切なのは次に何をすれば課題を克服できるか」を考えさせることだったそうです。「失敗＝駄目」ではなく「失敗＝学びの機会」という考え

方や自分で考えることの大切さを幼少期から身に付けてきたのですね。

片や大坂選手は、最近までメンタルの弱さを再三指摘されていました。それがどのようにして、あの異様な雰囲気での決勝戦をものにし、日本人史上初の優勝者となったのでしょうか？

2018年から大坂選手の指導者となったサーシャコーチの存在が大きいようです。完璧を求めるあまり、時に自滅して涙することもあった大坂選手に「君ならできる！」と寄り添いながら励まし続け、褒めることで自信を付けさせていったそうです。勿論、体幹を鍛えるトレーニングや技術面での指導あってこそですが、本人の気持ちを前向きにさせることで、実力をいかんなく発揮できる環境を整えたのだと言えるでしょう。



失敗を恐れることなく取り組む主体性、自分の感情をコントロールして冷静に考える力、これらは未来を生きる子供たちに等しく身に付けてほしいものです。そのために、私たち周りの大人は何ができるのでしょうか。本人が自分で考える時間を与える事（「待つこと」これが案外難しいものです。）や、「できなかった事」ではなく「できた事」に目を向けて褒める（「どうして〇〇なの！」といった言い方でつつい追い詰めてしまいがちです。）、といった事なのではないでしょうか。小さな成功体験の積み重ねは、必ずや自己肯定感につながり、その子の力を開花させるエネルギーとなるに違いありません。温かく寄り添える大人でいたいですね。

# 後期読書旬間が始まります！ 10月1日（月）～10月19日（金）

図書館担当教諭 大木明日香  
図書司書 濱 あかね

秋の訪れが感じられるようになり、じっくりと読書に親しめる季節となってきました。今年度2回目の読書旬間のテーマは「いろいろ読もうよ」です。ぜひ、様々なジャンルの本と出会い、世界を広げてほしいと思います。図書部では、多くの児童に参加してもらえよう、下記のような取り組みを考えております。

- 「読書の木」の作成・・・お薦めの本のカードを木の葉に見立てた「読書の木」をクラスごとに作り、掲示します。
- 読書ビンゴ・・・様々なジャンルの本に挑戦できるようなビンゴ形式のクイズを行います。
- 先生達がすすめる本の紹介・・・教員が薦める本を紹介します。
- 図書委員による図書クイズ、本の紹介・・・集会でクイズを出したり、本を紹介したりします。

詳しくは図書便り「滝坂の本だな」をご覧ください。滝坂小では、1～3年生は「めざせ100冊」、4～6年生は「めざせ5000～10000ページ」を目標に、年間を通して読書活動に取り組んでいます。ぜひこの機会にご家族と一緒に読書の時間を作ってみてはいかがでしょうか。読書旬間中は特に、いつも身近に読める本があるように用意をさせたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

1冊の本を開けば、色々な人に出会い、感じ、考え、学ぶこともいっぱいです。楽しい世界をどっぴのぞいて豊かな心を培ってほしいと思います。



## 【図書室クイズに家族で挑戦！】

9月27日(木)に図書委員会による集会が開かれました。「いろいろな本にふれて欲しい」という願いのもとシリーズや分類番号に関するクイズを考え、集会で出題しました。

ご家庭でも、ぜひチャレンジしてみてください。

### 〈1・2・3年生用クイズ〉

① 1・2・3年生でも読めるやさしい科学的な読み物で「かがくの〇〇」というシリーズがあります。〇〇に入る言葉は何でしょう。

② 図書室にある図鑑は借りられるものと、借りられないものがある。〇か×か。

③滝坂小で、1・2・3年生でも読みやすい物語の本には、わかりやすくシールがついています。何色のシールがついているでしょう。

### 〈4・5・6年生用クイズ〉

④豆腐について調べたいと思います。どの番号の棚を探したらよいでしょう。

⑤「工業・技術・家庭科」の本は何番の棚にあるでしょう。

⑥人気シリーズ「ミルキー杉山のあなたも名探偵」は、何番の棚にあるでしょう。

【答え】①とも ②〇 ③赤 ④6番（産業・通信）・・・食べ物だけでなく、電気などについての本もおいてあります。 ⑤5番・・・乗り物の本などもたくさんあります。 ⑥9番（物語・文学）

☆図書委員お薦めの本

1、2、3年生向け・・・「わかったさん」シリーズ（赤丸シール）

4、5、6年生向け・・・「ミルキー杉山のあなたも名探偵」シリーズ（9番）

ぜひ読んでみてください！

## 4年 とともに生きよう ～福祉体験学習～



4年生は、総合的な学習の時間に、視覚・聴覚障がいのある方々の生活を知り、「自分たちにできることは何か」を探っています。先月はその一環として、福祉体験学習を行いました。障がいを持っている方のお話を聞いたり、様々な体験をしたりすることで、ともに生きるためのヒントを得られたようです。

ガイドヘルプ体験では、「自分がドアにぶつからないだけじゃなくて、相手のことも考えて。」と言われ、その通りだと思いました。相手のことを考えるのは、どんな場面でも大切なので、意識していきたいです。目が不自由な愛沢さんが、「障がいがあることがかわいそうなんじゃなくて、やれることをやらない人がかわいそうなんだよ。」と言っていました。すごく生き生きしていて、前向きで、自分もそんな前向きな人になりたいと思いました。

自分の名前を手話で表したことがなくて、指だけで、こんなに文字を表せることがすごいと思いました。僕は前に駅のエレベーターの中で、耳が聞こえない人を見たことがありました。もし、そういう方が困っていたら、肩を優しくたたいて、指で示したり、紙などに書いて教えてあげたりすると、手助けできることを学びました。自分でもできることが分かったので良かったです。

## 3年 心をとどけよう ～高齢者体験学習～

3年生は総合的な学習の時間に、高齢者の方々への理解を深め、自分たちにできることを考えて実際に交流する活動を行います。9月には高齢者体験を行い、高齢者の方々はどうなことが大変なのか実感することができました。これを踏まえて、自分たちに何ができるのか、探っていきたいと思います。

体けんをして、高れい者の人は毎日大へんな1日なんだなと思いました。1番大変だったのは、体の半分を動かさないようにして歩いたことです。足が思い通りに動かなくて、足を持ち上げるだけでも大変でした。歩くときに少しずつしか歩けなくて、前から後ろにふり返るときもむずかしかったです。ヘッドフォンをつけると、自分が予想していたよりも聞こえなくてびっくりしました。また、わたしがにん知しようだったらとても不安な気持ちになっていると思います。つらい毎日を送る人たちをおうえんしたいなあとと思いました。

私は今日高れい者体けんをして、高れい者の方は、いつもすごくおもしろい荷物を持ちながら歩いているような感じだということを知って、思っていた以上に大へんなんだなと思いました。なので、高れい者の方がいたらやさしく声をかけたいです。たきざかタイムでは、今日体けんしたことをいかして発表したいです。

高れい者じゃない人は、高れい者がつらい思っていると思っていないけれど、高れい者自身はすごくつらい思いをしながら生きているんだなと感じました。ぼくは小学生だけれど、できるだけ役に立てるように助けたいです。

高れい者たいけんで、こしをまげて歩いたときにとてもいたかったので、それで毎日くらしていることが、とてもすごいと思いました。

耳が聞こえにくくなるたいけんをした時は、ヘッドフォンをつけた時と外した時が大ちがいでびっくりしました。だから、高れい者の方と話すときには、声の大きさに気をつけてやさしく話すんだと思いました。

展覧会のご案内

**テーマ「自分の想いをのびのびと」**

展覧会委員長 鈴木透

日時 11月16日(金) 14:15~15:40 (保護者鑑賞)

17日(土) 9:00~15:40 (保護者鑑賞)



< 両日とも30分前に最終受付になります。 >

図画工作科、家庭科の学習の成果を発表する場として展覧会を開催いたします。子どもたちは自分の個性を生かし様々な表現に挑んでいます。

大筆で大胆に表す子、面相筆(穂先の細い筆)で繊細に表現する子、どちらもその子自身の表現であり驚かされます。一人ひとりの子どもが想いを十分に発輝した作品を展示できればと考えています。また、今年は17日の午前中に6年生によるギャラリートークを計画しています。子供たちによるリアルな作品解説が聴けると思います。初めての試みとなりますが、是非、多くの方々にご来場いただきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様に鑑賞していただき、子どもたちの頑張りを誉めていただければ有意義な展覧会になると思います。

**10月の行事予定**

月	火	水	木	金	土
1日 都民の日 全校朝会 読書旬開始 委員会 わかくさ学級公開日	2日 交通安全教室(全) 移動教室事前検診 (5)	3日 八ヶ岳移動教室 始(5) 生活習慣病予防 検診(4)	4日 たてわり活動 食育学習(1)	5日 八ヶ岳移動教室 終わり(5) 給食試食会	6日
8日 体育の日 小学生タグラグ ビー大会	9日 安全指導日	10日 教員研修のため 4時間授業	11日 音楽集会 リサイクル回収 たてわりお弁当給食 漢検練習日	12日 遠足(3・4)	13日 土曜授業日
15日 水曜時程 就学時健康診断の ため4時間授業	16日 遠足(わ)	17日 教員研修のため 4時間授業	18日 児童集会	19日 読書旬間終 避難訓練	20日
22日 全校朝会 クラブ	23日 たきざかタイム お店紹介集会 遠足予備日(わ)	24日	25日 たきざかタイム	26日 教員研修のため 4時間授業	27日
29日 全校朝会 クラブ あいさつ運動始 (~11月2日) 色覚検査(4)	30日 ごみ0運動 歯科指導(2)	31日			